

北朝鮮の核実験を極めて強く非難する決議

北朝鮮は、9月9日、5回目となる核実験を強行した。我が国をはじめ国際社会は、北朝鮮に対して、核実験や弾道ミサイル発射等の挑発行為を決して行わないよう警告と要求を繰り返してきたにもかかわらず、核弾頭能力を高めるためとして核実験を再度強行したことは、我が国に対する直接的脅威である。

野々市市議会は、核兵器の廃絶と平和維持を求めた「平和都市宣言」をした市民と一体となって、北朝鮮の核実験を極めて強く非難する。

これまでの北朝鮮の一連の行動は、国際社会の平和と安定を著しく損なうとともに、6か国協議等で確認された朝鮮半島の非核化の方針にも逆行するものであり、断じて容認できるものではない。

北朝鮮に核・ミサイル開発を放棄させるため、北朝鮮を6か国協議の対話のテーブルにつかせることは、いよいよ急務である。そのために平和的解決に向け国際社会が一致結束して、制裁措置の全面的で厳格な実施とその強化を含め、政治的・外交的努力を強めることが必要である。

また、北朝鮮が核武装強化の道を進むことは、国際的孤立を深め、未来のない道であることを強く指摘するものである。

以上、決議する。

平成28年9月13日

石川県野々市市議会